



ご あ い さ つ

岡山県高等学校体育連盟
会長 田 中 薫

「躍動の青い力 四国総体 2022」につながる第61回岡山県高等学校総合体育大会が、6月4日、5日を中心に県下各地において繰り広げられます。

コロナ禍ということで、様々な制限がかかり「何も気にすることなく」競技に臨むことができるというわけにはいきませんが、それぞれの目標に向かって懸命に努力してきた成果を発表する場を、なんとか確保することができましたことには、この上ない喜びを感じているところです。選手の皆さんのひたむきな挑戦に心より期待したいと思います。

今年の高校3年生は、入学時からコロナ禍に翻弄され続け、様々な試練を乗り越えてここまでたどり着きました。厳しい状況を後ろ向きにとらえず、「この厳しい状況の中だったからこそ最高のパフォーマンスができた」と言えるよう、集大成の場を前向きなチャレンジで締めくくってほしいと思います。

2021年に「2020東京オリンピック・パラリンピック」、そして2022年には「北京2022オリンピック・パラリンピック」が連続して開催されました。緊急事態宣言下での無観客開催、猛暑、人権問題等、多くの課題がある中での開催となりましたが、日本勢の活躍はもちろん、世界のトップ選手達の嬉し涙や悔し涙、国籍を問わずライバルたちと讃え合う姿は、私達見る者に勇気と感動を与え、スポーツの「魅力」や「価値」を改めて教えてくれました。

この県総体では選手の皆さんが主役です、今回の皆さんの活躍する姿が周りで応援してくれる人達にスポーツの「魅力」や「価値」を与えることになります。新型コロナウイルス感染症をはじめ、現在世界の人々は多くの不安を抱えながら日々の生活を過ごしています。そんな中であって、スポーツを志している高校生の活躍が世の中に少しでも「元気と潤い」を与えてくれることを期待したいと思います。

最後になりますが、ご協賛いただいております岡山県教育委員会様、山陽新聞社様、ご後援いただきました公益財団法人岡山県スポーツ協会様、そして高校生達のために各方面よりご尽力いただいております関係各位に心より感謝申しあげごあいさついたします。